

施策評価シート【分野別施策】

施策名		関係部					
1-⑤	青少年の健全育成を推進する	健康・こども部					
所管事業に関連する成果指標							
指標名	単位	計画策定時	実績値				目標値 31年度
			27年度	28年度	29年度	30年度	
青少年指導員の地域活動率	%	81	82	82	83		83
愛護指導件数（年間）	件	2,340	1,790	1,354	1,140		2,140
関連事業							
○青少年指導員活動事業○ジュニア・リーダー育成事業○青少年健全育成催事事業○青少年指導・相談事業○青少年国際交流事業							
決算額							
	28年度	29年度	30年度	31年度			
事業費（千円）	35,228	33,530					
執行率（%）	95.96	98.44					
施策の推進に向けた主な取組の「成果」							
<ul style="list-style-type: none"> ●青少年指導員の活動として、研修会や県主催の各種大会へ参加し、資質の向上を図りました。また、各地区において青少年の指導、見守り事業を中心となって実施しました。 ●ジュニア・リーダー養成講習会を6回開催し、修了生から21人がジュニア・リーダーズクラブに加入するなど、青少年リーダーの育成を推進しました。 ●子ども大会、成人式のほか、青少年会館自主事業、浅間祭の開催を通じて、青少年の健全育成や青少年団体の交流と連携を図りました。 ●愛護指導による声掛けを年間を通して実施し、七夕まつり期間中には飲酒・喫煙の指導を重点的に行うとともに、青少年の非行の早期発見及び早期指導に努めました。また、「不登校・ひきこもり」対策として、NPO法人との協働事業として悩みをもつ青少年の自立を支援しました。 ●ローレンス市青少年訪問団を平塚に迎え、市民や青少年団体と交流するとともに、青少年のローレンス市派遣では、日常と異なる文化や生活を直接学ぶことができ、両市の青少年の交流を深めることができました。 							

施策を推進する上での「課題」	課題解決を図るための「取組方針」
<p>●青少年指導員連絡協議会等との連携を密に地区活動の一層の充実に取り組んでいく必要があります。</p> <p>●ジュニア・リーダーを養成する講習会の受講者の増加を図るほか、ジュニア・リーダーズクラブ生のスキルの向上を図る必要があります。</p> <p>●青少年を対象とした催事の実施にあたっては、その意義や目的を常に捉えながら、実行委員会で内容を検討する必要があります。</p> <p>●青少年の指導・相談にあたり、啓発活動の強化と相談員の質的向上に努める必要があります。また、平成30年度で終了する青少年の自立を支援する協働事業の在り方を決める必要があります。</p> <p>●青少年海外派遣（訪問先：姉妹都市アメリカ合衆国カンザス州ローレンス市）の応募者の増加を図る必要があります。</p>	<p>●年間を通して開催する理事会での協議や各種研修の成果により各地区の活動の充実が図られるよう支援します。</p> <p>●ジュニア・リーダー養成講習会のPRに努めるとともに、ジュニア・リーダーの養成からクラブのサポートまで継続的に関わり、事業の活性化を図ります。</p> <p>●実行委員会へ適切な資料や情報の提供を行いながら、参加者のニーズに合った事業を進めます。</p> <p>●青少年や保護者等が相談しやすい環境を整えるため、相談員等に対して研修会に派遣するとともに、実情に応じた愛護指導に取り組みます。また、協働事業は、青少年の自立に向けた効果が見込まれることから、取組が継続できるよう活動団体との話し合いを進めます。</p> <p>●派遣団員のOB・OGを活用し、実際の体験を伝えてもらうことなどを通して参加者の期待を高める事業周知に取り組みます。</p>